

自分は自分のままで

小三

わたしは、女か男かで決められることは、あまりすきではありません。なぜなら、「男なんだからなくな。」や「女の子なんだから、ピンクがすきでしょ。」と言われると、どんどん自分らしさがなくなってしまうような気がするからです。こせいがあるから、地球はおもしろいのではないのかな、とわたしは思います。女の人でも男の人でも何色をすきになってもいいし、話し方も自由でいいと思います。一人一人ちがうことは、とてもすてきなことだと思います。こせいがあるから人は、

自分らしく生きていけると思っています。

しかし、自分のすきなことが人にひていされてしまうことがたまにあります。「自分のまま生きたいから気にしない。」と思っても、悲しいし、くやしくなります。四才のときに、知らない大人の人から、

「あの子、黒い洋服だから、男の子みたい。女の子なんだから、ピンクや水色のかわいい洋服を着ればいいのに。」

と言われたことがあります。そのときから黒色の洋服を着られなくなりました。しかし姉は、黒色の洋服を着ていました。わたしが姉に、「なんで黒色の洋服が着られるの。」

と聞くと、姉は、

「女の子でも黒色の洋服を着ていいんだよ。」

と言ってくれました。わたしは姉の言葉に、心がすくわれました。そのころからわたしは、黒色の洋服を着ることができるようになりました。このことを姉はとてもよろこんでくれました。そのときのことを思い出すと、ありがとうという気持ちでいっぱいになります。もしこれから同じようなことがあっても、自分の人生だから自分で決めていきたいな、と思いました。

わたしは、悲しくてくやしい思いをしました。が、すきなことをひていされなければこんな思いをしなくてすみませんでした。一人一人のことがひていされな

いで大切にされる世界になればいいなと思います。もし同じようなことを言われてきずついてしまっているお友だちがいたら、姉のように助けたいです。こせいを大切にして、みんながいい気持ちになれるような世界がつくれたらいいなと心から思っています。自分自分のままで、みんなが幸せになれるといいなと思いました。